

3部

5月
科目修了試験の
ご案内

1 // 5月科目修了試験の受験申込み

2018年度第1回科目修了試験をp.17の日時・会場で実施します。

試験実施日	申込締切・ レポート締切日	受験通知書 到着予定日	成績通知(履修 状況票)発送予定
5/19(土)・ 5/20(日)	5/2(水)必着	5/9(水) ※5/9までに届かない場合 は5/10午前中までに通信 教育部までご連絡ください。	6/13(水) or 8/1(水)

※受験科目の追加は5/3(木)午前まで、受験会場の変更は5/10(木)午前まで受け付けます。

2 // 科目修了試験に関するご案内

- 申込・受験上の留意点 → 『学習の手引き』4章2節または7章
- 教科書持込可科目 → 受験通知書にてご確認ください
- 自筆ノート持込可科目 → 受験通知書にてご確認ください
- 卒業試験について → 『学習の手引き』7章または5章
- 試験結果通知後「不可」の理由が不明の場合 → 『学習の手引き』4章1節または6章「担当教員への質問」の利用が可
- 本学職員による学習相談が可能な会場 → 仙台
- メールによる問合せ先 → ut@tfu-mail.tfu.ac.jp (結果照会は不可)

3 5月科目修了試験の実施日時・会場

会場地図 → 『試験・スクーリング情報ブック2018』 p. 94～109参照

日時	都市名	会場名
5/19(土) 13:30集合	仙台(注1)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	盛岡	岩手県自治会館 3階第2会議室
	山形(注2)	学校法人 明德学園 2階24教室
	郡山	郡山女子大学 83年館2階821教室
	宇都宮	栃木県総合文化センター 3階第3会議室
	東京(注3)	東北福祉大学 東京サテライト (四ツ谷)
	長岡(注2)	長岡こども福祉カレッジ 1号館
	静岡	静岡県立大学短期大学部 小鹿キャンパス 教育棟1階103教室
5/20(日) 9:45集合	仙台(注1)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	札幌	かでの2・7 7階710会議室
	青森	アスパム 5階「白鳥」
	秋田	秋田県生涯学習センター 5階第3研修室
	東京(注3)	東北福祉大学 東京サテライト (四ツ谷)
	新潟(注2)	新潟医療福祉カレッジ 2号館
	大阪	日本研修センター 十三 3階会議室D

(注1) いずれか一方の日程のみ受験可。使用教室は当日の案内掲示板を参照。

(注2) スリッパ等の上履きをご持参ください。

(注3) いずれか一方の日程のみ受験可。開室予定時刻は集合40分前。

時間割	5/19(土) 13:30集合同会場	5/20(日) 9:45集合同会場
1科目め	13:45～14:30	10:00～10:45
2科目め	14:30～15:15	10:45～11:30
3科目め	15:15～16:00	11:30～12:15
4科目め	16:00～16:45	12:15～13:00

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●リハビリテーション論 稲垣 成昭

- ・テキストを事前に読んでおいたので、スムーズに講義内容が理解できよかったです。先生の具体的で分かりやすい話を聞くことで、テキストだけでは知ることのできない部分を知ることができました。特に精神科専門のOTである見方や考え方にふれた点で貴重な話に興味を持ちました。
- ・リハビリテーションは身体のリハビリだけではなく、精神面や社会生活の全てに関わる、専門分野としての意義や目的を理解することができ学びの深いスクーリングでした。

●地域福祉論 都築 光一

- ・地域福祉とは何となくこのようなことなのかなと思っていましたが、法的な裏づけがあり、推進実行されていかなければならないということがよく理解できました。
- ・日本の地域福祉に影響を与えたデンマーク、イギリス、アメリカの時代背景について大変興味深く聞くことができました。特にノーマライゼーションの父バンク・ミケルセンの収容所生活経験が影響を与えていたのには驚きました。

●児童（・家庭）福祉論 渡邊 憲介

- ・先生ご自身のご経験からの事例や知見など織り交ぜながら講義していただいたため、制度についての解釈評価や、現場での運用状況について理解することができとても参考になりました。
- ・児童養護施設の状況を聞くことができ、それまでの施設に対するイメージとは対照的で、社会のひずみや社会問題が、子どもにも波及している実態を知ること、社会的弱者の中に子どもが含まれている意味を理解することができました。

●児童（・家庭）福祉論 千葉 喜久也

- ・虐待を受けている子どもたちがいるという現状は、その家族だけではなく社会全体の責任であるということに考えさせられました。もっと隣人に優しくできる社会づくりに貢献していきたいと思いました。
- ・虐待の現実を知ってとても考えました。何も悪くない子どもが、親の勝手な行動によって、どうしてこんなに深い傷を負わなければならないのか。今虐待は重症化している。子どもたちを守るために、社会ができることは何かを考えさせられました。